

就業力育成プログラムについて

就業実習

Internship

この授業では、インターンシップの実習およびその事前・事後学習を通じて、
①企業や社会の現実の姿を理解すること、②就業意識を醸成すること、
③自らの課題を把握し今後のキャリアを考えるとともに、大学生活における具体的な目標を
確かなものにしていきます。

事前学習 (5~6月)



マナー研修・目標設定

マナー研修では、専門の講師を招いて挨拶や電話の対応など社会人としての基本的なマナーを学びます。また就業実習における目標を設定します。

実習 (7~9月)



企業での実習

実際に企業に入り、企業の一員として、仕事を体験します。アルバイトとは違い、ビジネスの現場や働くことを理解することができます。

事後学習 (10月)



グループでの振り返り学習

3~5名程のグループを組み、インターンシップでの体験や学びを振り返り共有します。また、報告会に向けて各グループで意見をまとめます。



報告会実施

グループごとに、就業実習での研修内容やそこから得た学び・気づきについて、パワーポイントにまとめ発表します。

インターンシップの実習は、九州インターンシップ推進協議会との連携により以下の2種類を実施しています。

就業型 インターンシップ

自らが希望する業界を選び、就業体験を行う。実習先に応じて自らの専門分野の知識や技術が実社会でどのように生かされているかを知ることができます。

実習期間 3日~20日(企業により異なる)

キャリアスコープ プロジェクト型 インターンシップ

地域の中小企業やベンチャー企業・NPOなどで活躍する方々の取材を通じて学生自らが仕事や組織・生き方の魅力を発掘し、WEBサイトで情報発信します。

活動期間 3ヶ月間